

## 第2回白河市複合施設基本設計検討委員会 議事要約

- 1 日 時 令和3年8月10日(火) 13:30~15:30
- 2 場 所 白河市役所本庁舎 5階 正庁
- 3 出席者
  - 委員長：市岡 綾子 (日本大学工学部 専任講師)
  - 副委員長：藤田 龍文 (株式会社楽市白河 取締役副社長)
  - 委員：青砥 和希 (一般社団法人未来の準備室 理事長)
  - 浅川 なおみ (白河市公民館運営審議会 副会長)
  - 大住 由香里 (公募)
  - 白岩 麗奈 (公募)
  - 柴崎 恭秀 (会津大学短期大学部 教授)
  - 徳田 芳江 (白河市地域活性化協議会等連絡調整会議 委員)
  - 平久江 勝志 (白河市消防団 白河方面隊長)
  - 牧田 恵 (NPO 法人子育て環境を考える虹の会 副理事  
白河市ファミリーサポートセンターセンター長兼アドバイザー)
  - 村越 美穂子 (白河市健康づくり推進協議会 会長)
  - 事務局：深町 参事兼企画政策課長、仁平 地域拠点整備室長、八巻 主任主査兼係長、  
穀田 副主査  
原 建築住宅課長、松川 課長補佐兼係長、山本 主査
  - その他：(株)石本建築事務所(富宇加、三井、弓削)
- 4 次 第
  1. 開 会
  2. 議 事
    - (1) 今後のスケジュールについて
    - (2) ワークショップの実施について
    - (3) サウンディング調査の結果について
    - (4) 先進地視察について
    - (5) その他
  3. 閉 会

## <議事概要>

### 【委員長】

(1) 今後のスケジュールについて、事務局から説明をお願いします。

### (1) 今後のスケジュールについて

(資料1、2により説明)

### 【委員長】

ありがとうございました。今の説明に関しまして、ご意見やご質問をお願いします。

### 【委員】

基本設計の内容が市民に公表されるのは、いつ頃になるのでしょうか。

### 【事務局】

パブリックコメントの際に、素案として、外観のデザインや各機能の配置などを示す予定です。

### 【委員】

それは広報紙でお知らせするのでしょうか。

### 【事務局】

広報紙も含めてホームページや各種SNSなど、市が保有する様々な手段を活用してお知らせする予定です。

### 【委員長】

基本設計の素案ですので確定ということではありませんが、このタイミングで初めて外観のデザインなど、分かりやすい内容が市民の皆さまにお示しされることとなります。

パブリックコメントでたくさんの意見をいただくことが、次へ進むための大きな活力になりますので、お知り合いの皆さまにお伝えいただければと思います。

では、続きまして(2)ワークショップの実施について、事務局から説明をお願いいたします。

### (2) ワークショップの実施について

(資料3-1、3-2により事務局説明)

### 【委員長】

ありがとうございました。いよいよ具体的に動いていく内容についてご説明いただきましたが、ご意見やご質問はございますでしょうか。

### 【委員】

ワークショップのやり方につきましては、1回目の検討委員会の後に市役所のみなさ

んからヒアリングがありましたので、その内容を委員の皆さまに共有させていただきたいと思います。

まず、先に質問をいたしますが、このワークショップのときに基本設計の平面図や模型など、たたき台になるようなものは示されるのでしょうか。

#### 【事務局】

9月6日開催予定の第3回検討委員会にて委員の皆様に建物や機能の配置イメージを提示する方向で準備をしております。

#### 【委員】

今回実施する方法は「KJ法」という方法で、実はちょっと古い方法になります。手順としては6段階ぐらいありますが、今回の方法では1段階ないし、2段階までとなっています。まず「ブレインライティング」といって、ふせんに意見を書いていただいて貼る作業、続いて「親和図法」といって、それをグルーピングする作業になりますが、今の説明ですと、この2段階までになると思っています。実際には、そこから「ブレーンストーミング」をやったり、「ポジショニングマップ」というのをつくったり、最後に「フィードバック」してはじめて完結する方法です。つまり、今回のワークショップの結果が基本設計にどのように反映されたか、フィードバックする機会を設けられなければ意味がないものになってしまいます。

昨今のトレンドは「デザインシンキング」という方法で、スタンフォード大学が開発したのになります、「共感」をポイントとしております。今回のたたき台に対して、どのように「共感」を取り入れられるのかをシミュレーションでよいので、テストして、みんなで話し合うというのがトレンドになっています。

そういうものを限られたスケジュールの中では作れないとは思いますが、少なくとも「共感」であるとか、「フィードバック」の機会を、9～10月の間に完結させてしまうのではなく、もう少し散らして、パブリックコメントも「共感」のひとつですので、フィードバックの機会を作っていただけたらと思います。

これは意見ですので難しければ仕方がないですが、一応、ヒアリングがありましたので、その内容を委員の皆さまに共有させていただきました。

#### 【事務局】

フィードバックの機会につきましては、ワークショップ参加者の皆さまに対し、パブリックコメントの前に中間報告会を設ける考えであります。この報告会の中で、意見やアイデアがどのように反映されたかを説明できればと考えております。パブリックコメントの前ですので、1月下旬ぐらいを目安に開催できればと考えております。

#### 【委員長】

チラシ等にその報告会を設けるということが記載されておりましたが、参加者にはそのような機会がある旨を事前にお伝えするというところでよろしいでしょうか。

#### 【事務局】

そのような方向で考えております。

**【委員長】**

ワークショップを進めていく過程で、その過程で少数意見が消えていってしまうことがよく起こります。私はその少数意見の中にも重要なことがあると思いますので、ワークショップに同席した場合には、少数意見の中にもこのような意見があったなど、少数意見も議事録に残しておく方がよいとアドバイスをしています。

ただ、ファシリテーターの方は短時間の中で意見をまとめていくことが役目ですので、少数意見を消していくという方向になってしまうのですが、出てきた少数意見の中にも重要なことが隠れているかもしれないので、事務局や設計事務所の方は目配せをお願いします。

**【委員】**

このワークショップには、われわれ検討委員会の委員は参加できるのでしょうか。

**【事務局】**

皆さまにはこの検討委員会の場でご発言いただくという整理をしておりますので、ワークショップのメンバーとして参加いただくことはお控えいただきたいと思います。ただし、最終回の発表報告の場においては、委員の方も傍聴できるようにしたいと考えております。

**【委員長】**

そのような機会を設けていただければ、検討委員会に出席するときの情報になりますので、ぜひ検討いただきたいと思います。

**【委員】**

高校生のワークショップについて、市役所の皆さんからヒアリングがありまして、その内容を共有させていただく意味で発言いたします。

施設の耐用年数を考えれば、現在10代の方が最も施設を利用していくことになる年代のひとつだと思いますので、高校生から意見を集めるという場をつくるのが素晴らしいと思います。

その上で、第2回と第3回について切り分けて実施した方がいいと提案したのは、他の世代を尊重して固有の意見が出づらくなることが想定されることや、その場にはいない高校生の代表としての意見をまとめる意識を持ってもらうこと、また、5年、10年後のように未来を見据えた議論を行いたいという理由からです。

また、多様性という点から、定時制高校からも参加してもらいたいと考えています。

**【委員長】**

高校生ワークショップの第2回、第3回の日程は全体のワークショップと同じですか。

**【事務局】**

時間は変わりますが、同じ日に実施する予定としております。

**【委員】**

高校生に話し合ってもらうのは施設全体についてなののでしょうか、それとも部分的な

事項についてでしょうか。

**【事務局】**

健康増進や子育て支援など、意見の出にくい部分もあるかと思われるため、利用が想定され、意見が出やすいと思われる生涯学習や交流機能などのテーマに絞ったものを検討しております。

**【委員長】**

テーマを絞るのみでなく、高校生から見た大人の姿・利用の仕方についての意見を求めることも、よい意見につながると思っています。現状の大人のふるまいについての意見や、自分たちが大人になった際の利用を想定した意見等も挙げられると良いのではないかと、個人的には思っています。

**【株石本建築事務所】**

先ほど委員長からお話がありましたように、少数意見が消されていってしまうことがよくありますので、意見の取りこぼしが少なくなるよう、振り返りシート等の利用によって補完していきたいと考えています。

また、委員からご指摘ありましたように、フィードバックする機会が非常に重要だと思っておりますので、参加いただいた方に対して中間発表の場を設けて、いただいた意見がどのように設計に反映されたのかを説明させていただきたいと考えております。

**【委員】**

その建物や機能の配置イメージに対する委員の意見はワークショップで出された意見とどのようにすり合わせていくのでしょうか。

**【事務局】**

建物や機能の配置イメージについては、複合施設の骨格となる各フロアの機能配置を示すものであることから、まず、検討委員会においては第3回以降にプランを提示して意見を伺い、また、ワークショップにおいても、並行して議論を進めていきたいと考えております。

最終的には、パブリックコメントで提示する、中間的な位置付けである基本設計の素案については、皆さんの了解を得たうえで実施することを想定しております。

**【委員長】**

では、続きまして（3）サウンディング調査の実施結果について、事務局から説明をお願いいたします。

**（3）サウンディング調査の実施結果について**

（資料4により事務局説明）

**【委員長】**

ありがとうございました。今の説明に関しまして、ご意見やご質問をお願いします。

**【委員】**

サウンディング調査の参加事業者募集はどのような方法で周知したのでしょうか。

**【事務局】**

市のホームページ及び官民連携のポータルサイトへの掲載と関連する事業者へダイレクトメールをお送りしました。

**【委員】**

参加された事業者の所在地のエリア、地域などについて教えていただければと思います。

**【事務局】**

地元の事業者もありましたし、県内、東京圏、仙台に事業所を構えているところもございまして、幅広く参加いただきました。

**【委員】**

事業者決定にあたり、どういった基準で決定していく予定でしょうか。また、近くのマイタウンの中にも類似したような機能があると感じていますので、それが一番気になっています。

**【事務局】**

基本計画に記載されている官民連携事業は、基本計画での懇談会委員の意見、アンケート調査、庁内での議論などを積み重ねて、理想・目標として、こういうものが望ましいということで、その上で相乗効果が期待できる民間の機能を例示したものですので、これに則したものにしていきたいと考えております。

今回、自ら事業に加わる意向のある民間事業者を対象として、この官民連携事業を例示して調査を行った結果、参加意思のある事業者が複数あることが確認できました。プレイヤーがいないと民間機能導入は実現できないため、提案のあった内容に絞るなどして、どういう機能が入るのか、庁内で議論したうえで、次回の9月6日の検討委員会で、その方向性をお示して、皆さんの意見を伺う予定です。

事業者の選定方法については、公募など、いくつか方法がありますが、現時点では決まっておりません。

一部カフェ等を除いて、マイタウンなど既存の施設との類似機能を整備するのではなく、機能の棲み分けを行い、重なった機能はないように検討を進めています。

**【委員】**

今から4年後を見据えて事業参入に手を挙げることは、大手の企業でないと難しい部分があると感じました。4年後のオープンの近くなった時点で参画したい企業のために、予め枠を設けておくことはあるのでしょうか。

**【事務局】**

機能を入れたけれども、出ていかれてしまうということを一番心配しており、今回の調

査で出された諸条件を見ながら、事業者の選定方法を決定していく必要がありますが、まずはどの機能を入れるのかを決めるのが先で、事業者を決めるのはその後となります。現時点では事業者を決めることはできませんのでご理解願います。

**【委員】**

テナント料の考え方はどのように考えているのでしょうか。

**【事務局】**

通常であれば、公共施設の目的外使用ということで建設費用に応じた使用料を取っておりますが、この方法だと、今回のような複合施設では建設費用を考えると高額となり、入るのは厳しいのではないかと考えています。他の事例では、初めは、行政からの初期段階における支援があっても、その支援がなくなると出ざるをえないケースもあります。

調査では、施設全体の運営や維持管理も併せた官民連携事業の提案もあり、単にテナント的な位置付けで入れるのがいいのかといったことも含めて今後検討を進めていきたいと考えています。

**【委員長】**

民間事業者のノウハウを受け入れるだけではなく、そのノウハウを活かして、白河市のためになる手法を主導していただくことも大事だと思います。

**【委員】**

運営まで含めた参画事業者の意見が強くなっていくと、市が想定している施設と乖離していく事例もいくつか見られるので、しっかりと市がイニシアチブをとって、コントロールしていくことが重要だと思います。

**【委員長】**

では、続きまして（４）先進地視察について、事務局から説明をお願いいたします。

**（４）先進地視察について**

（資料５より事務局説明）

**【委員長】**

ありがとうございました。今の説明に関しまして、ご意見やご質問をお願いいたします。

**【委員】**

質問ではなく意見ですが、視察先でも現在の我々と同じように検討委員会などを開催してきたと思いますので、その検討の過程や意見が反映できた、もしくはできなかったなどの情報をレクチャーいただければと思いますので、よろしく願います。

**【事務局】**

可能な範囲で対応させていただきますので、よろしく願います。

**【委員】**

図面やパンフレットなどの資料を事前にお配りいただくといいのではないかなと思いますので、よろしくお願いたします。

**【委員長】**

続いて、(5) その他について事務局からお願いします。

**(5) その他について**

(別添チラシにより事務局説明)

**【事務局】**

次回の検討委員会の会議につきましては、9月6日の月曜日、午後2時30分から、本日より同じ、市役所5階の正庁で開催いたしますので日程の調整をお願いいたします。

**【委員長】**

予定していた議題は以上となりますが、委員の皆さまから何かございますでしょうか。

**【委員】**

石本建築事務所様は施工までするのでしょうか、それとも設計までなのでしょうか教えてください。

**【事務局】**

石本建築事務所には「基本設計業務」を委託しており、施工については別となります。

**【委員長】**

本日はこれをもって、第2回検討委員会は終了ということにさせていただきます。それでは、私の役目はここで終了し、進行を事務局に戻します。皆様ありがとうございました。

**【事務局】**

それでは以上をもちまして、閉会とさせていただきます。委員の皆様には、長時間にわたり、ありがとうございました。